

東風吹かば（菅原道真）

東風 吹かば 匂い おこせよ 梅の花

解説 右大臣であった菅原道真が、太宰の権の帥府に任命され、太宰府へと左遷されたとき、梅の花を見て詠んだ歌。

語釈 ※東風＝春の風。

主 なしとて 春な 忘れそ

通釈 東の風が吹いたならば、その香りを（私のもとまで）送っておくれ、梅の花よ。主人がいないからといって、（咲く）春を忘れてくれるなよ。